

学校教育目標「自ら考え、幸せを追求する子の育成」

発行日

令和8年9月 4日

令和8年度学校通信

「こやっ子通信」

第7号

発行者

伊丹市立昆陽里小学校

校長 幸山 まどか

全国学力・学習状況調査の結果から見えるこやっ子の姿

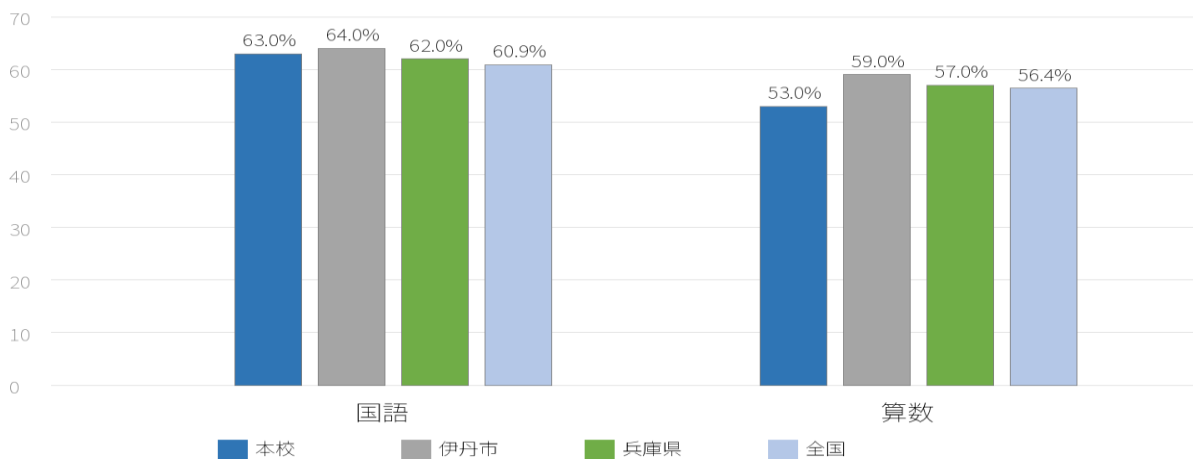
6年生を対象に、令和8年(2026年)4月23日(木)に行われた全国学力・学習状況調査の結果が公表されました。この調査は、子どもたちの学力や学習習慣、生活習慣などを把握し、今後の教育活動の充実に生かすことを目的としています。本校でも、学力調査(国語・算数)と質問紙調査の結果を分析し、子どもたちの強みや課題について整理しましたのでお知らせします。

学力調査結果 国語・算数

国語では、平均正答率が兵庫県平均・全国平均を上回りました。特に、文章を読み取る力や、自分の考えを表現する力に成果が見られました。また、「国語の授業がよく分かる」「最後まで解答を書こうとした」と回答した児童も多く、粘り強く学習に取り組む姿勢が見られます。算数は、基礎的な内容は定着していますが、説明する力や表現する力に課題がみられました。今後は、「なぜそう考えたのか説明する」「友達のを聞いて学ぶ」「図や式、言葉で表現する」といった力をさらに育てていくことが大切であると考えています。

令和8年度 全国学力・学習状況調査結果

国語・算数 平均正答率の比較



家庭学習について

平日に1時間以上学習している児童は、本校 **36.0%**、伊丹市 **46.5%**、全国 **49.9%**であり、**本校は市・全国を下回っています**。今後は家庭学習の時間を確保するとともに、間違い直しや苦手な内容の学び直しを重視する必要があります。

生活習慣について

- 「朝食を毎日食べている」 79.8%
- 「毎日、同じくらいの時刻に寝ている」 76.4%
- 「毎日、同じくらいの時刻に起きている」 88.8%

自己肯定感と学校生活について

質問紙では、子どもたちの心の面に関わる項目にも課題が見られました。

- 「自分には、よいところがあると思う」肯定的回答 71.9%
- 「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う」肯定的回答 84.3%
- 「学校に行くのは楽しいと思う」肯定的回答 79.8%
- 「友達関係に満足している」肯定的回答 86.5%

生活習慣は概ね整っており、ご家庭でのご協力に感謝いたします。一方で、スマートフォン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴をする時間が長い児童も見られました。睡眠や学習とのバランスを意識していく必要があります。また、自分のよさを実感することや、違う意見を認め合うことにも課題が見られました。学校では、一人一人の努力や成長を丁寧に認め、安心して自分の考えを伝えられる学級づくりを進めていきます。互いに支え合い、認め合う学級風土は、学習や生活の大切な基盤とされています。



おわりに

昆陽里小学校では、子どもたち一人一人が自分らしく輝き、仲間とともに学びながら成長できる学校を目指しています。

今回の調査結果を今後の教育活動に生かし、子どもたちの学力向上と豊かな心の育成に努めてまいります。保護者・地域の皆様には、今後とも本校教育へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。